

保護者の皆様

札幌市立駒岡小学校

校長 平澤 淳志

「令和8年度 全国学力・学習状況調査」結果のお知らせ

今年度の6年生児童を対象として行われた、全国学力・学習状況調査「教科（国語・算数）に関する調査」と、「児童質問調査」について分析し、課題及び改善の方向についてまとめましたのでお知らせいたします。今回の調査で見えてきた課題は、学校全体の課題として捉え、今後の指導に生かしていきたいと考えております。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただきますようお願いいたします。また、本校で対象となりました6年生の保護者の皆様には、すでに個人票を配付しております。



■ 今回の調査における課題と改善の方向 ■

【国語】

領域	今回の調査における課題	改善の方向
言葉に関する事項	○学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うこと	○言葉の意味を考えて文の中で正しく使う学習活動を充実させます。そして、漢字ドリルで単に「書き取り練習の量」を増やすのではなく、「意味の理解」と「文脈での使い分け」ができるようにしていきます。また、国語以外の学習でも、学習した漢字を積極的に使う意識付けを大切にしていきます。
書くこと	○引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること	○引用する目的や引用することの意義を改めて確認します。例えば、自分の考えが伝わるように引用している文章と引用していない文章を読み比べるなどして、学級全体で「引用する目的」や「引用するとき大事なこと」について話し合ったり、書いた文章を読み合ったりして、お互いに振り返ることができる手だてを講じていきます。

【算数】

領域	今回の調査における課題	改善の方向
図形	○直方体の箱の形を構成する面について理解すること ○図形を構成する要素に着目して直方体の3つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉で表現すること	○直方体や立方体の構成要素（面・辺・頂点）の相互関係について、実際に展開図を組み立てたり、面に色を塗ったりするなどの具体的な操作活動をより大切にしていきます。 ○単に答えを出すだけでなく、「なぜそう考えたのか」を言葉や図を用いて説明し合う学習活動の更なる充実を図ります。

領域	今回の調査における課題	改善の方向
数と計算	○異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて説明すること	○単に通分して比べるという機械的な手順にとどまらず、分数の意味に着目して自分の言葉で論理的に説明する学習活動を大切にします。ペアやグループで考えを交流する場面を増やし、答えを出すだけでなく、なぜそうなるのかという根拠を深く考えて伝える数学的な思考力や表現力を育むことを目指します。

【学習状況・生活習慣等に関する児童質問調査の回答と今後の手だて】 ※一部抜粋

	回答結果から	今後の手だて
生活習慣 生活環境	◎毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ◎学校の勉強について、家族と話す。 ◎困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ▲1日あたりのスクリーンタイム（SNSや動画視聴の時間）	○今後も保健の学習等を通して、規則正しい生活習慣の継続を支援します。 ○シャボテンログを大いに活用しながら児童に寄り添った支援を今後も続けていきます。 ○SNS や動画視聴など、スマートフォンやタブレットの活用に関しては、健康面の影響についても指導し、家庭と連携して望ましい環境づくりを目指していきます。
ICT	◎パソコンなどで文章を作成したり、インターネットから情報を収集したり、発表のスライドを作成することができる。	○今後は ICT 機器を効果的に使うだけではなく、ネットモラル教育の更なる充実も図っていきます。
学習習慣 興味関心	◎国語の授業の内容がよく分かる。 ◎算数の勉強は得意。 ◎算数の授業の内容がよく分かる。 ◎算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できる。 ◎英語の勉強は好き。	○子ども一人一人が「分かる・できる・楽しい」授業となるよう、丁寧な学習指導や仲間との協働的な学びを大切にし、意欲的に学習に取り組むことができるよう支援していきます。
他者意識 自己有用感	◎自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ◎友達と話し合う中で、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることがある。 ▲将来の夢や目標をもっている。	○学級や他の学年の友達と関わる活動を更に充実させてより一層「ありがたいの風船」が膨らむように支援します。また、人間尊重の教育の推進を図り、互いを大切にしたり、相手の思いを尊重したりして、自己肯定感や自己有用感の更なる向上を目指します。

私たち教職員は、駒岡小の子どもたちのよいところをこれからも大切にし、一人一人の課題解決に向けた改善の手だてを子どもと一緒に考えながら支援していきます。

学校の主役である子どもたちが、その子らしさを大いに発揮できるよう、教職員一同力を合わせて教育活動の改善に取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

